



# ハローワールド



主催

公益財団法人福井県国際交流協会  
独立行政法人国際協力機構北陸センター

事業  
協力

福井県産業労働部国際経済課  
福井大学国際センター

# ハローワールドが



福井市長橋小学校



福井市国見小学校



敦賀市立粟野小学校



福井市清水北小学校



福井市河合小学校



敦賀市立粟野小学校

# やつてきた！



福井市宝永小学校



福井市松本小学校



福井市松本小学校



越前市味真野小学校



あおい町立佐分利小学校



小浜市立加斗小学校

## 国際理解促進講座「ハローワールド」とは・・・

同じ地域の住民として、外国籍の方と接する機会が増えてきています。このハローワールドは、地球の未来を担う子どもたちに、文化の多様性や世界と自分たちとのつながりに気付き、共に生きていく姿勢を育んでもらうことを目的に実施しています。学校の先生と講師となる外国籍住民や海外ボランティア経験者が意見を出し合い、効果的な授業を創り上げていくプログラムです。

授業の実践例（組み合わせての実施も可能です。）



- 外国人講師による母国紹介、異文化体験、ゲーム等を通じての外国語学習など
- 海外ボランティア経験者（元青年海外協力隊員など）による現地での活動体験談、日本の国際協力の話など

## 平成30年度 ハローワールド派遣校一覧（10校）

学 校 名	開 催 日	対象学年	人 数	講 師	ペー ジ
福井市長橋小学校	平成30年 10月10日	6年生	3名	ザワディ アッタナス さん（タンザニア）	6
福井市国見小学校	11月15日	5・6年生	13名	下村 エヴァ さん（フランス） ゾーイ ウィンバーン さん（アメリカ）	7
敦賀市立粟野小学校	11月22日	5年生	92名	古江 ロドラ さん（フィリピン） 宮本 円 さん（元青年海外協力隊員・フィリピン）	8
福井市清水北小学校	11月28日	3年生	18名	金 希南 さん（韓国）	9
福井市河合小学校	平成31年 1月22日	2年生	27名	イシドルジ バヤルマ さん（モンゴル）	10
福井市宝永小学校	1月24日	2年生	33名	イシドルジ バヤルマ さん（モンゴル）	11
福井市松本小学校	1月31日	2年生	91名	イシドルジ バヤルマ さん（モンゴル）	12
越前市味真野小学校	2月 1日	2年生	36名	エンケザヤ ナムスライ さん（モンゴル）	13
おおい町立佐分利小学校	2月 1日	2年生	13名	エンケザヤ ナムスライ さん（モンゴル）	14
小浜市立加斗小学校	2月12日	1～3年生	28名	エンケザヤ ナムスライ さん（モンゴル）	15

## 平成30年度 国際理解促進講座（ハローワールド）開催要領

### 1 目的

県内の希望小・中学校を対象に、先生方との連携を図りながら、次世代を担い国際化に対応できる人材を育成する。

### 2 主催団体

公益財団法人福井県国際交流協会／独立行政法人国際協力機構北陸センター

＜事業協力＞

福井県産業労働部国際経済課／福井大学国際センター

### 3 講 師

- (1) 県内の外国籍住民
- (2) 元青年海外協力隊員などの海外ボランティア経験者
- (3) 国際理解教育に関するワークショップのできる外部講師など

### 4 事業経費

講師の謝金および交通費に関しては、公益財団法人福井県国際交流協会の規定に基づき主催団体が負担する。その他の必要な経費については、原則として学校が負担する。

### 5 申込手続き

#### (1) 派遣（実施場所：学校）

申請書（様式1）を公益財団法人福井県国際交流協会に提出する。

締切日：2018年7月18日（水）

実施期間：2018年9月3日（月）～2019年1月31日（木）

#### (2) 受入（実施場所：福井県国際交流会館・福井県国際交流嶺南センター）

申請書（様式2）を公益財団法人福井県国際交流協会に提出する。

締切日：実施希望日の1か月前まで

実施期間：随時

### 6 報告書・アンケートの提出

派遣校（実施場所：学校）は、事業終了後14日以内に報告書（様式3）を作成し、アンケート（様式4）と共に提出する。受入校（実施場所：福井県国際交流会館・福井県国際交流嶺南センター）は、事業終了後14日以内にアンケート（様式4）を提出する。なお、提出された報告書は、年度末に実施報告書としてまとめ、各関係機関・派遣校および希望者に配布する。

### 7 その他

打合せについては、派遣の場合は1か月前、受入の場合は2週間前をめやすに行う。また、派遣の場合、講師は原則として交通手段は公共交通機関を利用する。学校までの交通の便が極端に悪い場合、もしくは最寄りの駅が遠い場合は、学校に送迎を依頼する場合がある。

# 福井市長橋小学校

実施日時	平成 30 年 10 月 10 日（水） 14:00～14:45
実施場所	教室・体育館
実践教科	総合的な学習の時間
対象	6年生 3名
講師	ザワディ アッタナスさん（タンザニア）
実施目的	<ul style="list-style-type: none"><li>・タンザニアの自然や文化についての話を聞き、タンザニアの国についての理解を深める。</li><li>・タンザニアの人と交流することで、異文化に関心や理解も深め、共生意識の向上を図る。</li><li>・日本との違いや共通点を見つけ、我が国の生活や文化の良さや課題に気づく。</li></ul>



## 事前学習

- ・世界のいろいろな国について本やタブレットで調べ学習をした。
- ・タンザニアについてタブレットを使って調べ学習をし、ザワディさんに質問したいことを考えた。

ね  
ら  
い

- ・タンザニアの自然や文化についての話を聞き、理解を深める。
- ・お互いの国の遊びを紹介し合い、実際にやってみながら楽しく交流する。

当  
日  
の  
授  
業  
内  
容

- ・タンザニアの自然や文化についてザワディさんが用意してくださったスライドを見ながら話を聞いた。時々質問をしたり、タンザニアの国旗やアクセサリーを見せてもらったりした。
- ・遊びの紹介と交流　日本とタンザニアの遊びをお互いに紹介し、体験をした。タンザニアのダンス・歌付きの遊びはみんなで楽しくできた。

## 事後学習

- ・タンザニアについて分かったこと、日本との違いや共通点を話し合い確認した。
- ・国際交流会館に行き、民族衣装を着る体験をしたり、アメリカ・中国の方と交流したりした。
- ・いろいろな国について調べたり交流したりしたことをまとめ、保護者や他校の児童の前で発表した。（12月実施）

## 子どもたちの感想

- ・ザワディさんは、日本に来てまだ 1 年くらいなのに、日本語が結構通じてびっくりしました。きっと、日本語の勉強をたくさんしているのだと思います。ザワディさんの国はスワヒリ語なのに英語がペラペラで、これにも驚きました。大学で電気関係の勉強をしていて、将来タンザニアでもっと電気が普及するように力を尽くしたいと言っていたことにも本当に感心したし、すごい人だと思いました。私もザワディさんみたいにいろいろな勉強をがんばりたいです。
- ・ザワディさんが分かりやすく教えてくださったので、タンザニアのことがよく分かりました。本やインターネットでは分からなかったことまでよく分かりました。特に、タンザニアの人はバナナが好きで、種類も料理の方法もいろいろあるのにはびっくりしました。いろいろなバナナ料理を食べてみたいと思いました。タンザニアのアクセサリーもすごくきれいできだと思いました。
- ・ザワディさんが、僕たちが紹介した「ケン・ケン・バー」の遊びを見て、同じような遊びがタンザニアにもあると言ったのには驚きました。日本とタンザニアはとっても離れた国だから似ている遊びがあるとは思わなかつたからです。でも、日本とは違って目を閉じて動かなければならず、やってみたらとても難しかつたです。また、タンザニアのダンスと歌付きの遊びは、初めは恥ずかしかつたけど、みんなでやってみるととても楽しくおもしろかったです。今度学校のみんなでやってみたいと思いました。



## 先生の感想

- ・実際に外国の方と交流することで、その国に対する親近感がわき、興味関心も高まり、交流後、「もっとタンザニアやアフリカについて調べたい。」と言う児童もいた。今回は福井県に在住している唯一人のタンザニアの方においでいただき、児童は、アフリカの方と交流するのも初めてということもあって初めはとても緊張していた。しかし、ザワディさんの笑顔やあん柄に触れ、また、スライドを使っての分かりやすい説明等を通して、徐々に緊張感が和らぎ楽しく見たり聞いたりすることができた。
- ・後半の体育館での遊びを通した交流の時間では、日本とタンザニアの遊びを紹介し合って実際にみんなでやってみた。話だけではなく、体を動かし、教え合ったり手をつないだりしながら楽しく触れ合えたことはとてもよかったです。

## 福井市国見小学校

実施日時	平成 30 年 11 月 15 日（木） 13:40～15:00
実施場所	教室
実践教科	総合的な学習の時間
対象	5 年生 5 名、6 年生 8 名
講師	下村 エヴァ さん（フランス） ゾーイ ウィンバーン さん（アメリカ）
実施目的	外国の様子や文化を知ることで、異文化の理解を深め、外国に対する興味関心を高める。



### 事前学習

- 世界のあまりよく知らない国について、2人ペアで1か国を調べ、まとめたことを発表し合った。
- 国見地区の良さを伝えるために、紹介する内容や方法を考え、準備をした。
- 英語でコミュニケーションをとれるように、自己紹介や国見の紹介を英語で練習した。

ね  
ら  
い

- アメリカやフランスの生活や文化、学校の様子などを知り、外国に対する興味関心を高める。
- 国見地区の良さを発信する。

当日の授業内容

- 講師紹介と児童の自己紹介
- 児童による国見地区の紹介  
国見の自然や歴史について  
国見音頭を紹介し、一緒に踊る。
- 講師の先生による外国の紹介  
アメリカやフランスの生活や文化、学校の様子などについて

### 事後学習

- ハローワールドの感想を書き、分かったことや自分の活動について振り返りをした。
- ハローワールドで学んだことや体験したことをまとめ、学習発表会で他学年や地域の人々に発表した。

### 子どもたちの感想

- アメリカもフランスも休みが多くていいなと思いました。すごくうらやましかったです。私たちの国にはない行事もあって、やってみたいなと思いました。これからもたくさんの国を知り、自分の世界を広げていきたいです。
- アメリカやフランスのちょっとした常識的なことは知っていたけど、くわしくは知らなかつたので、ハローワールドを通していろいろな情報を得ることができてよかったです。クレヨンなど、私たちが身近に使っている言葉がフランス語だったと初めて知りました。
- 日常生活の中にふつうにフランス語の言葉が入っていることが分かったり、あどろきの行事や学校の様子を聞いたりして、僕が今まで思っていたアメリカやフランスの印象と違いがあってびっくりしました。
- 国見について少しですが知ってもらえてよかったです。ゾーイさんとエヴァさんは優しく真剣に聞いてくれたのでうれしかったです。



### 先生の感想

- アメリカやフランスについて、写真や資料をたくさん用意し、分かりやすく話をしてくださったので、理解を深めることができた。また、生活や学校の様子など、子どもたちにとって身近な話題が多かったので、興味を持ってしっかり話を聞くことができた。
- 講師の先生の実体験に基づいた話が多かったので、日本との違いがよく分かり、新たな発見をすることができた。
- 子どもたちの活動に笑顔で楽しそうに参加してくださったので、コミュニケーションや交流を図ることができた。子どもたちもとても満足し、外国の方に対して親しみを感じることができた。

# 敦賀市立粟野小学校

実施日時	平成30年11月22日（木） 13:30～14:15
実施場所	体育館
実践教科	外国語
対象	5年生 92名
講師	宮本 円さん（元青年海外協力隊員・フィリピン） 古江 ロドラさん（フィリピン）
実施目的	・外国についての興味、関心を高め、理解を深める。 ・外国の暮らしや自分たちの環境をふり返り英語を学ぶ意欲につなげる。



## 事前学習

道徳でTV番組シリーズの「世界がもし100人の村だったら」の、ガーナのカカオ農園で働く子どもたちの番組を視聴。同時に、「世界がもし・・・」の言葉を引用し、自分たちの恵まれている環境や世界には色々な国があることを学んだ。

ね  
ら  
い

上記の実施目的と同様

授業  
内  
容  
の  
日  
時

- ・フィリピンの紹介（国歌、島の数、多言語国家）を話やクイズ形式で学ぶ。
- ・フィリピン文化体験（パンブーダンス体験、民族衣装試着、お金や生活道具に触れる）

## 事後学習

道徳で「小さな国際親善大使」の授業を行った。他国の習慣や文化を理解することが大切であることを、主人公芽衣とその家族の出来事を通して学びとった。また、外国語活動の単元が、ちょうど世界の色々な国の観光地や食べ物、名産品などに触れる単元だったので、様々な国についても触れた。

## 子どもたちの感想

- ・フィリピンの国旗の由来など、初めて知ることができました。島は何個かなどのおもしろいクイズもあって楽しかったです。フィリピンの島の数がとても多くてびっくりしました。
- ・マンゴー、ハロハロ、ナタデココをフィリピンから輸入していることなどが分かりました。
- ・170の言語が使われていることに驚きました。
- ・宮本さんのパンブーダンスは上手でした。ぼくはそこまで上手くできませんでしたが、楽しかったです。
- ・日本は日本語だけなのにフィリピンには170の言葉があってびっくりしました。
- ・フィリピン人は笑顔を忘れないと聞いて、フィリピンの人は毎日が楽しそうでいいなと思いました。
- ・フィリピンはスペインから独立した国ということを初めて知りました。フィリピンの伝統的な踊りをあどってとても楽しかったです。また機会があればやってみたいです。
- ・フィリピンの国旗は、友愛、3つの島、勇気などのいろんな意味からできているんだと初めて知りました。
- ・フィリピンのことをクイズで楽しく学ぶことができました。



## 先生の感想

- ・フィリピンのことについて国歌があつたりクイズがあつたり、ダンスがあつたりと、45分間の授業で趣向をこらしていただいて、子どもたちは楽しく学べました。学び始めた子どもたちに分かるような英語であ話いただき、それを通訳していただいたり、また現地の言葉を教えていただいたりして、国際理解が少し深まったように思いました。身近な敦賀や福井のことだけではなく、世界のことを考えるよいきっかけとなりました。
- ・今後は、道徳で国際理解の題材を扱い、12月の人権週間と関連づけて世界の国々について考えたいと思います。また、外国語の授業でも世界の国について触れ、国際理解について継続して指導していきたいと考えています。

# 福井市清水北小学校

実施日時	平成 30 年 11 月 28 日（水） 9:35 ~ 10:20
実施場所	教室
実践教科	総合的な学習の時間
対象	3 年生 18 名
講師	金 希南 さん（韓国）
実施目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・韓国の言葉や服装、生活について知り、親しみを持つ。</li> <li>・日本との文化の違いを知り、外国の文化に親しみを持つ。</li> </ul>



## 事前学習

- ・韓国の生活や料理について書かれた本や昔話を読んだ。
- ・質問したいことをまとめた。

ね  
ら  
い

・国語学習で「三年とうげ」を学習するが、物語の背景となる韓国の人々の暮らしや風俗について知ることで、よりお話を身近に感じたり、親しみを持ったりして、学習に積極的に取り組むようになることを期待している。

授当  
業日  
内  
容の

- ①講師の方の自己紹介
- ②挨拶の言葉を知る
- ③韓国の地図、言葉（ハングル）の説明
- ④民族衣装の紹介と着てみる体験
- ⑤ゆず茶、アーモンド試食
- ⑥手遊び

## 事後学習

- ・楽しかったことや学んだこと「ふり返り」（絵日記）にまとめた。講師の先生にお礼の手紙を書いた。
- ・韓国をはじめ、いろいろな国の昔話や民話を読み、紹介文を書いた。

## 子どもたちの感想

- ・韓国の料理について知らなかつたことが分かってよかったです。  
(キムチの種類は 200 種類、お正月にはお雑煮を食べる、韓国の唐揚げは赤いなど)
- ・韓国の文字はたくさんあつた。
- ・韓国は日本に一番近い国だと分かった。
- ・紹介されたゆず茶やお菓子がおいしかった。
- ・民族衣装がカラフルできれいだつた。(着させてもらった子は大変喜んでいた)



## 先生の感想

講師の方の明るい口調や分かりやすい言い方で、児童は韓国の地理的な情報やハングル、講師の方の出身地などについて知ることができた。また、日常飲まれているゆず茶やお菓子を紹介していただき、ほっと心和む場面もあった。ご自身の服やお子さんの衣装を持ってきてください、上着や履き物などについて教えてもらった後、代表者が試着させてもらつたが、お話だけよりも実際に日本との違いを感じられてよかったです。子どもたちが一番興味を示したもののは料理で、キムチの種類やお正月のお雑煮、唐揚げなどの紹介では、歓声が上がっていた。お話の中で、儒教の教えが息づいているということにふれられ、年長者を敬う心が今でも続いていることを知ることもできた。終始和やかな雰囲気で、和気あいあいと進み、楽しくまたいろいろな知識も知ることができたのでよかったです。

# 福井市河合小学校

実施日時	平成31年1月22日（火） 09:35～10:20
実施場所	教室
実践教科	国語科
対象	2年生 27名
講師	イシドルジ バヤルマさん（モンゴル）
実施目的	国語「スーセの白い馬」の舞台となっているモンゴルの様子や文化について学び、物語への興味・関心を高めると共に、異文化への理解を深める。



## 事前学習

- ・モンゴルの位置や大きさを地図で確認した。
- ・モンゴルはどんな国なのか想像した。
- ・質問したいことを話し合った。

ね  
ら  
い

- ・モンゴルについて知り、モンゴルの文化に親しみをもつ。
- ・日本と比べながら、モンゴルの話を聞く。
- ・今回の学習をもとに、国語「スーセの白い馬」の物語の読みを深める。

授業内容の  
担当者

- ・モンゴルの挨拶・国旗・国土・位置・人口・気候・食べ物・お金などについて、クイズを交えながら学ぶ。
- ・「スーセの白い馬」の紙芝居を見る。
- ・馬頭琴の演奏の動画を視聴する。
- ・代表の児童が、モンゴルの民族衣装の試着をする。

## 事後学習

- ・分かったことや感想を、ワークシートに書き、発表し合った。
- ・「スーセの白い馬」を、ハローワールドで学習したこと思い出しながら読み深めた。

## 子どもたちの感想

- ・クイズに答えながら楽しく勉強することができました。
- ・はじめて知ったことがとてもたくさんあって、わくわくしました。
- ・モンゴルの挨拶や食べ物のことなどを教えてもらい、モンゴルのことがよく分かりました。
- ・モンゴルの国旗の中にある青色は空の色を表していて、モンゴルは空がきれいだと聞いて、モンゴルに行ってみたいになりました。
- ・モンゴルは日本の面積の4倍くらいあるのに、日本より人口が少ないことに驚きました。
- ・モンゴルはロシアの近くにあるので、とても寒いことが分かりました。
- ・モンゴルの衣装を着てみることができて、うれしかったです。
- ・モンゴルの服は、二重重ねになっていて、とても暖かいことをはじめて知りました。
- ・バヤルマ先生はモンゴルの人だけど、見た目は日本人ととても似ていると思いました。だけど、食べ物など、モンゴルと日本はいろいろ違うからびっくりしました。
- ・スーセの白い馬の手作りの紙芝居が心に残りました。白馬の雪が、矢が何本もささって、大好きなスーセのところへ帰って行くところが心に残りました。
- ・馬の骨や毛などで、馬頭琴が作れるなんてすごいと思いました。
- ・モンゴルのことをもっと知りたいと思いました。
- ・バヤルマ先生に教えてもらったことをずっとわすれないようにしたいです。



## 先生の感想

- ・クイズを通して、児童が楽しく学習することができ、モンゴルへの興味・関心を深めることができた。
- ・「スーセの白い馬」への興味・関心も深まり、学習に生かすことができた。
- ・自分たちの国の日本とモンゴルを比較し、似ているところや違いに気付くことができた。
- ・モンゴルの挨拶を進んで使う児童もあり、授業がとても心に残ったのだと感じた。
- ・事前に質問を考えていたが、時間がなく、質問ができないだったので、もう少しだつぶりと時間をとるとよかったです。

## 福井市宝永小学校

実施日時	平成31年1月24日（木） 13:10～13:55
実施場所	多目的ホール
実践教科	国語科
対象	2年生 33名
講師	イシドルジ バヤルマさん（モンゴル）
実施目的	「スーコの白い馬」の導入



### 事前学習

- ・モンゴルの場所を地図で確認

ね  
ら  
い

- ・「スーコの白い馬」のお話の場面を想像しやすくするためにモンゴルの国のことを見る。

授業  
内容

- ・モンゴルの紹介
- ・「スーコの白い馬」（紙芝居）
- ・民族衣装体験
- ・馬頭琴の映像



### 事後学習

- ・国語科「スーコの白い馬」学習

### 子どもたちの感想

- ・モンゴルの国旗には、意味があるのだなと分かりました。
- ・モンゴルの国は寒い時はお肉、温かい時は乳製品を食べることが分かりました。納豆を食べないことも初めて分かりました。
- ・モンゴルの国はとても広いのに、日本よりも人口が少ないことが分かりました。
- ・移動して暮らしている人たちがいることが分かりました。
- ・モンゴルの言葉「ありがとう」「さようなら」の言い方を覚えられました。
- ・モンゴルの衣装がとてもかわいくて私も着たかったです。
- ・「スーコの白い馬」の紙芝居を聞いて、白馬が死んでしまってとてもかわいそうだと思いました。
- ・「スーコの白い馬」の紙芝居を聞いて、王様がうそについて、スーコも白馬もかわいそうだと思いました。

### 先生の感想

- ・モンゴルの国の暮らし方が分かったので、物語の設定も理解しやすいと思いました。
- ・写真や映像、紙芝居など子どもたちが視覚的に分かりやすいものを用意してくださっていたので、短時間でよく分かりました。
- ・日本との違いがよく分かりました。
- ・欲を言えば、馬頭琴の実物が見たかったです。

# 福井市松本小学校

実施日時	平成31年1月31日（木） 13:15～14:00
実施場所	視聴覚ホール
実践教科	国語科
対 像	2年生 91名
講 師	イシドルジ バヤルマさん（モンゴル）
実施目的	・国語科「スーアホの白い馬」の舞台（モンゴル）について、理解を図る。 ・外国の暮らしや文化にふれ、異文化へ興味・関心を高め、理解を深める。



## 事前学習

- ・「スーアホの白い馬」のあらすじを知った。
- ・モンゴルの人口や国の位置などを確かめた。
- ・福井県にいるモンゴル人の数を知った。

ね  
ら  
い

- ・モンゴルの文化や生活を学び、外国への興味・関心をもつ。
- ・国語科「スーアホの白い馬」の世界の理解を深め、学習に対する意欲を高める。

当  
日  
の  
授  
業  
内  
容

- ①クイズ形式でモンゴルの文化や生活について紹介してもらう。
- ②馬頭琴の演奏を聞く。（CD）
- ③「スーアホの白い馬」の読み聞かせ（紙芝居）
- ④モンゴルダンスを踊る。
- ⑤質問タイム

## 事後学習

- ・講師の先生にお礼の手紙を書いた。
- ・「スーアホの白い馬」を読み深めた。
- ・後日、国際交流会館で行われたアマバアルバヤルさんの馬頭琴のコンサートを聞きに行った（一部の児童）。また、その感想を交流した。



## 子どもたちの感想

- ・モンゴルの気温が、マイナス30度の時があるなんてびっくりしました。
- ・馬頭琴の弦が、馬の尻尾の毛なんて初めて知りました。馬頭琴の音色がきれいでました。また、聴いていてモンゴルに行ったりました。
- ・音楽に合わせて、モンゴルダンスを踊ることができて楽しかったです。
- ・ぼくは、英語とフィリピン語を聞いたことがあるけれど、モンゴル語を初めて聞きました。
- ・ゲルが30分ほどでできるなんて、初めて知りました。ゲルの大きさがどれくらいあるか知りたいです。
- ・モンゴルのことをいっぱい知ることができてうれしかったです。馬頭琴の曲がとてもきれいで、また聞いてみたいです。
- ・モンゴルでは、3才から馬に乗り、8才から競馬に出ることができますってびっくりしました。競馬のことを聞いて、スーアホのことを思い出しました。



## 先生の感想

- ・モンゴルの文化や生活について、クイズを交えたりパワーポイントを使ったりして分かりやすく説明してくださったので、児童は最後まで興味をもって活動に参加していました。
- ・国語の授業で、今回学んだことを生かす発言があった。（物語への理解の深まりが感じられた。）
- ・時間と人数の制約で、民族衣装の試着やモンゴルのおもちゃで遊ぶことができなかつたことが残念である。

## 越前市味真野小学校

実施日時	平成31年2月1日（金） 9:40～10:25
実施場所	味真野小学校 旧幼稚園体育館
実践教科	国語科
対 像	2年生 36名
講 師	エンケザヤ ナムスライさん（モンゴル）
実施目的	国語「スホの白い馬」の学習にあたり、モンゴルの人々の生活の様子や馬頭琴についての理解を深める。



### 事前学習

- ・「スホの白い馬」の読み聞かせを聞き、お話の大体の流れを知って感想を書いた。

ね  
ら  
い

- ・言葉や文字に関心を持たせる。
- ・お話に出てくるモンゴルの生活の様子を知らせる。
- ・馬頭琴の大きさ、音色を知らせる。

当日の授業内容

- ・モンゴルの言葉（あいさつ）
- ・モンゴルの2種類の文字の紹介
- ・パワーポイントの写真とともに、モンゴルの大自然や人々の暮らしの様子の紹介
- ・馬頭琴の形状や音色の紹介
- ・絵本や民芸品、おもちゃの紹介
- ・民族衣装の試着（児童代表3名）

### 事後学習

- ・講師へのお礼の手紙を書いた。
- ・モンゴルの人々の生活の様子や馬頭琴について学んだことを参考にしながら「スホの白い馬」のお話の内容を読み取った。



### 子どもたちの感想

- ・初めて知ったことがいっぱいありました。冬はとても寒いことが分かりました。マイナス40度になることが一番びっくりしました。何かを外に出したら一瞬で凍るなんてすごいです。でも、ゲルという家の中は暖かくて、家なのに動かせるので、いいなあと思いました。
- ・モンゴルの服は、ぽかぽかだったので、着せてもらえてよかったです。子どもたちが動物の骨で遊ぶなんてびっくりしました。
- ・わたしも、馬に乗ってみたことがあります。高くてこわかったです。湖が凍ってそりができるなんてすごいです。わたしも行ってみたいです。
- ・モンゴルの学校のことが分かりました。給食がなくて、早く帰るのが驚きました。小学生から高校生まで一緒に校舎にいるなんてびっくりしました。
- ・馬頭琴の音がとてもきれいでした。いろいろなことを教えてくださってありがとうございました。モンゴルのことがよく分かりました。
- ・牛や羊の肉を吃るのはかわいそうだけど、人が命をもらうのだから、感謝して食べようと思いました。

### 先生の感想

- ・大相撲などでよく耳にするけれど、あまり知らなかつたモンゴルという国について、知ることができた。
- ・外国に関心をもち、早速世界地図でモンゴルの位置を確認している児童がいた。
- ・写真だけでなく、たくさんの実物（衣類やおもちゃ等）に触れたり見たりすることで、モンゴルの生活について興味・関心をもって学ぶことができた。
- ・実際にその土地で生活してきた人の話を聞くことで、モンゴルの厳しい冬の寒さや、草原に立つゲルでの生活について、思いを馳せることができた。
- ・馬頭琴の美しい音色に触れることができてよかったです。今日学んだことを、今後の「スホの白い馬」の学習に生かしていきたい。

# おおい町立佐分利小学校

実施日時	平成31年2月1日（金） 14:00～14:45
実施場所	教室
実践教科	国語科
対象	2年生 13名
講師	エンケザヤ ナムスライさん（モンゴル）
実施目的	国語科の学習教材「スホの白い馬」の舞台がモンゴルであることから、モンゴルの文化を知ることで、教材への理解を深め、異文化交流を図る。



## 事前学習

- インターネットで、モンゴルの位置や住まい、食べ物などについて調べる活動を行った。

ね  
ら  
い

- モンゴルの衣装を試着したり、生活の様子を聞いたりすることによって、日本との違いを知り、外国人の人や文化についての理解を深める。

当日の授業内容

- 画像を見ながら、モンゴルの地図上の位置や人口、挨拶、家（ゲル）の建て方、遊牧民の生活などについて知る。
- モンゴルの学校生活について知る。
- 馬頭琴の大きさについて知り、音色を聞く。
- 民族衣装を試着する。
- 質問タイム



## 事後学習

- 学級全体で、感想を交流した。
- 講師の方への手紙を書いた。
- 2月に国語で「スホの白い馬」を学習し、教えていただいたことを生かして、物語を想像豊かに読むことができた。

## 子どもたちの感想

- モンゴルで大人気のスポーツは、バスケットボールやモンゴル相撲だとわかつてうれしかったです。エンケザヤさんのおかげでモンゴルに行きたくなりました。
- 馬頭琴で馬の走る音や鳴き声を出すことができるのがわかりました。モンゴルに行くことができたら、馬頭琴を触ってみたいと思いました。
- モンゴルで家畜を飼っている人は、動物の肉や骨や毛など、いろいろなものを残さずに使っていることが分かりました。
- 国の広さは日本よりモンゴルのほうが広いけれど、人口は日本がモンゴルの人口の40倍だと分かりました。
- 冬は洋服の中に羊の毛を入れるという工夫をしていることが分かりました。着てみたらとても温かかったです。
- モンゴルの文化は、日本の文化と違うことが分かりました。これから、「スホの白い馬」を学習するけれど、もっとモンゴルのことについて知りたくなりました。



## 先生の感想

- 事前学習を行ったため、興味をもって話を聞くことができた。
- 実際に、モンゴル出身の方から話を聞いたり、馬頭琴の音色を聴いたり、民族衣装を着たりするなど、子どもたちが興味をもつことができる内容で、異文化理解につながった。さらに、国語の教材「スホの白い馬」の学習への意欲も高まった。
- たくさん児童が民族衣装を着ることに興味をもっていたが、3人のみの体験であったため、もう少し時間があればもっと多くの児童が体験することができたように思う。

## 小浜市立加斗小学校

実施日時	平成31年2月12日（火） 10:25～11:10
実施場所	多目的教室
実践教科	国語科
対象	1年生 12名、2年生 6名、3年生 10名
講師	エンケザヤ ナムスライさん（モンゴル）
実施目的	モンゴルについての話を聞く活動を通して、外国の文化や風習に興味をもつ。



### 事前学習

- ・国語「スーセホの白い馬」の学習をした。
- ・モンゴルの地理について概要を伝え、興味をもたせた。

ね  
ら  
い

- ・日本とモンゴルを比較し、違いや共通点などに気づき、親しみを持たせる。
- ・遊牧民が知恵や工夫を凝らしながら昔から自然や動物たちと共に存してきたことを知る。また、遊牧民が家畜の命を重んじて生活の中に取り入れ、命を大切にしてきたことを知る。

当日の授業内容

- ・モンゴルの挨拶
- ・モンゴルの位置、国土の広さ、人口
- ・モンゴルの有名人
- ・モンゴルの学校生活
- ・遊牧民の生活
- ・モンゴルの民族衣装を着る。
- ・馬頭琴の演奏を聞く。

### 事後学習

- ・学習したこと振り返った。
- ・お礼の手紙を書いた。



### 子どもたちの感想

- ・馬頭琴の音色がきれいで、馬が鳴いているみたいだった。
- ・モンゴルへ行って、流れ星を見てみたいと思った。
- ・モンゴルの学校は、午前と午後に分かれていて、給食がないなんて、日本の学校と違うと思った。
- ・モンゴルは、日本より広いのに、人口が少ないんだなと思った。
- ・モンゴルの衣装を着ることができてよかったです。
- ・モンゴルの人たちは、動物のふんや骨まで使っているので、すごいなと思った。
- ・ゲルを2時間で作ってしまうので、すごいと思った。冬は寒くならないように、フェルトで囲っているので工夫していると思った。
- ・挨拶の言葉を覚えられてよかったです。
- ・いつか、モンゴルへ家族で行ってみたい。



### 先生の感想

- ・映像やクイズを交えながらお話をしてくださいましたので、楽しく学習することができた。
- ・国語で学習した「スーセホの白い馬」と関連付けながら話してくださいり、国語の学習をより深めることができた。
- ・講師の方が終始にこやかに話をしてくださいり、温かい雰囲気で安心して話を聞けた。
- ・事前学習をもう少ししておくと、より興味深く学習することができたと思う。
- ・45分という短い時間だったので、あっという間に終わってしまった。もう少し時間があると、遊びを体験したり、紐を使ってゲルの広さを体感したりできたと思う。

## 講師の感想



アメリカ文化や祝日、小学生の生活について紹介しました。ハロウィーンの時期でしたので、ハロウィーン風のトリック オア トリートをして飴を配りました。

子どもたちが国見のことを紹介してくれて嬉しかったです。みんながよく話を聞いてくれました。

最後に、もっと外国について知りたいと言つてくれた子やハヌカについて初めて知つたと喜んでもくれた子もいたので、全体的に良かつたと思いました。

ゾーイ ウィンバーンさん（アメリカ）

福井市国見小学校派遣

45分という短い時間でしたので、児童のみなさんの聞いているだけの時間を少なくして、なるべく動けるようにと考えました。

音響がもう少し良ければ、フィリピンの音楽を聞かせて、日本と違うことが感じられたのではないかとも思いました。

最後に、先生が「外国はフィリピンだけではありませんが、これをきっかけに他の国にも興味を持っていきましょう。」とお話ししされていましたが、この講座を通して、子どもたちが世界に興味を持つきっかけになれば幸いです。

宮本 円さん（元青年海外協力隊員／フィリピン）  
敦賀市栗野小学校派遣



タンザニアの自然や文化について、スライドを使って紹介をしました。子どもたちがタンザニアのことを少しでも知つてもらえたなら嬉しいです。

そして、タンザニアのダンスと歌付きの遊びを子どもたちと一緒にてきて楽しめましたし、日本の遊び（けんけんば）も知ることができておもしろかったです。

子どもたちは、タンザニアについてもっと知りたがつたようなので、次に講師をする機会があれば、時間の制限もあるため、話題をいくつかに絞つて行いたいです。

ザワティ アッタナスさん（タンザニア）

福井市長橋小学校派遣

発 行 公益財団法人福井県国際交流協会／独立行政法人国際協力機構北陸センター

福井県国際交流会館

〒910-0004 福井県福井市宝永3丁目1-1 TEL(0776) 28-8800 FAX(0776) 28-8818 info@f-i-aor.jp

問い合わせ 福井県国際交流嶺南センター

〒914-0063 福井県敦賀市神楽町2丁目2-4 アクア42F TEL(0770) 21-3455 FAX(0770) 21-3441 reinan@f-i-aor.jp